



2024年度
事業報告書

さんむわくわく館

NPO法人教育サポートGAA

活動の概要

開館日

毎週月・水・木曜日 午前9時～午後7時 年間123日

利用者数

登録者数 58人

年間延べ利用者数 1,073人

1日平均延べ利用者数 8.7人

時間帯別利用者数 9:00～12:00 7.0人

12:00～13:00 6.4人

13:00～15:00 6.7人

15:00～19:00 4.9人

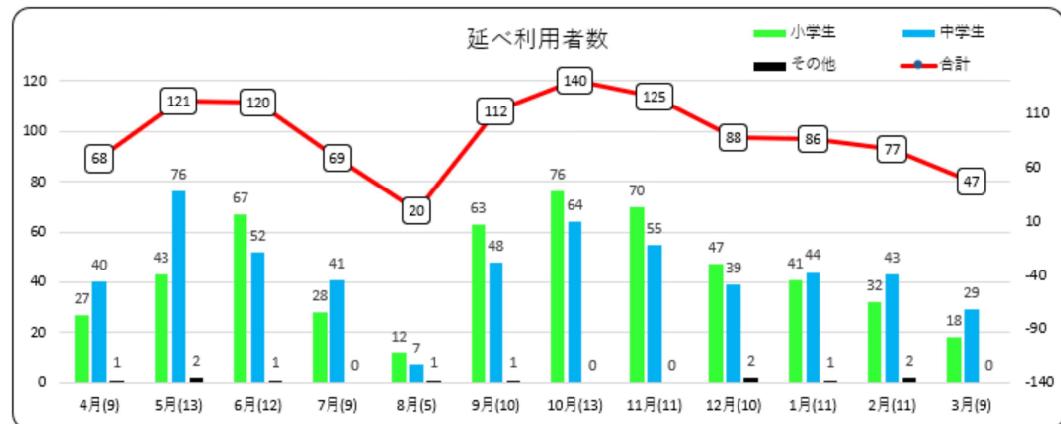
利用者の年齢層 0歳～18歳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数	9	13	12	9	5	10	13	11	10	11	11	9
利用者数	小学生	7	15	14	8	6	10	9	10	10	6	8
	中学生	11	10	10	10	3	9	11	9	7	6	6
	その他	1	2	1	1	1				1	1	2
	計	19	27	25	18	10	20	20	19	18	13	16
平均利用者数	小学生	0.8	1.2	1.2	0.9	1.2	1.0	0.7	0.9	1.0	0.5	0.7
	中学生	1.2	0.8	0.8	1.1	0.6	0.9	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5
	その他	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1				0.1	0.1	0.2
	計	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	1.5	1.7	1.8	1.2	1.5
延べ利用者数	小学生	27	43	67	28	12	63	76	70	47	41	32
	中学生	40	76	52	41	7	48	64	55	39	44	43
	その他	1	2	1	1	1				2	1	2
	計	68	121	120	69	20	112	140	125	88	86	77
平均延べ利用者数	小学生	3.0	3.3	5.6	3.1	2.4	6.3	5.8	6.4	4.7	3.7	2.9
	中学生	4.4	5.8	4.3	4.6	1.4	4.8	4.9	5.0	3.9	4.0	3.9
	その他	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1				0.2	0.1	0.2
	計	7.6	9.3	10.0	7.7	4.0	11.2	10.8	11.4	8.8	7.8	7.0

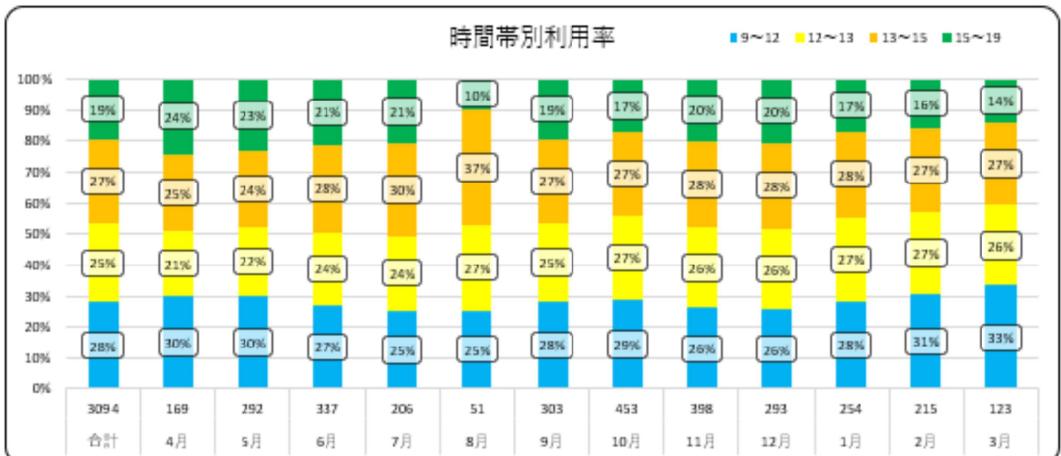
年間利用者数



*()開館日数



*平均は、4月からの平均です



事業費

年間予算 7,900,000円

事業経過

4月	第Ⅰ期開始 山武市校長事業説明会
5月	「さんむわくわく館だより」第6号発行（市内全児童生徒に配布） 山武市教育委員会「日本語交流会」会場提供（～7月）
7月	第Ⅰ期終了 わくわく書道体験（席書） 夏休み子ども学習会（小学生）
8月	プログラミング講座（初級） プログラミング講座（中級） 門扉改修
9月	第Ⅱ期開始
10月	「さんむわくわく館だより」第7号発行（小中学校教職員に配布） 子ども秋の学習会（中学生、～2月）
11月	プログラミング講座（上級） 軽スポーツ・調理体験 「わくわく通信」第1号発行
12月	プログラミング講座（上級） 書道体験（書初め） 「わくわく通信」第2号発行 倉庫・自転車置場ひさし設置 第2期終了
1月	第3期開始
2月	「わくわく通信」第3号発行 次年度行政移管のための運営試行 「わくわく通信」第4・5号発行
3月	第3期終了

書道・書き初め体験

- ◇ ねらい 席書や書初めの基本練習を体験し、納得のいく作品を仕上げる
- ◇ 日 時 7月10日、12月25日（午前部、午後部）
 - ・和やかに練習し落ち着いて作品作りに取り組んだ。
 - ・作品は後日展覧会に出品した。
 - ・参加者は仕上げた作品を手にしてとても満足していた。
- ◇ 状 況

プログラミング講座

- ◇ ねらい 簡単なプログラムを作成してロボットや3Dプリンターを思い通りに動かす。
- ◇ 日 時
 - (1) 初級：8月5日
 - (2) 中級：8月19日
 - (3) 上級：11月3日
- ◇ 状 況
 - ・級別にしたことによってスキルに応じた支援ができ、子どもの満足度も高まった。
 - ・プログラミングを通して判断力や表現力を高めることができた。

日本語交流会への協力

- ◇ ねらい 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習を支援する。
(山武市教育委員会・城西国際大学共催)
- ◇ 日 時 5月～7月（月1回） 17:30～18:45
- ◇ 状 況
 - ・城西国際大学の学生を講師に日本語交流（学習）会を実施した。
 - ・日本語カードを使ったゲームでは、身振り手振りを交えながら楽しく参加していた。
 - ・回を重ねる毎に学生との距離が縮まり日本語力が高まった。

まとめ

- 個別の支援計画の作成によって最適な学び支援ができた。
- プログラミング機材（ドローン）の導入によって習熟度に合わせたコース別支援ができた。
- 1日当たりの利用者数はほぼ安定しているが、日によって10数名の日があった。
- 利用時間は、午前午後ともほぼ同様の割合であるが、15時以降は特に秋から冬にかけて利用者が少なかった。
- 利用者が同時に10名以上いたり、施設外活動希望者がいるとスタッフが足りず、支援が手薄になった。
- 元気なのに登校できないいる利用者が利用するようになったことにより、これまでの支援方針の修正が必要となっている。そのための支援研修や情報共有も必要不可欠となっている。
- 多様な子どもにそれぞれに即した個別最適な支援を行うには、スタッフを増やす必要がある。行政と更に調整し、施設外活動日を年間計画に位置づけたり、予約状況を共有して利用者の多い日に応援スタッフを要請するなどする必要がある。
- 行政移管したことによって支援方針や支援対象者に微妙な差異が見られる。今後も月1回の情報共有会議を持ち、子ども目線に立つ、より良い支援を追求していく必要がある。

《資料》

さんむわくわく館だより

さんむわくわく館だより

第6号 2024年5月18日発行
NPO法人教育サポートGAA

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけたいと思っている子どもや、自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもたちの居場所です。

潜在能力を引き出す

NPO法人教育サポートGAA理事長 斎藤伸之

《学校支援》

「NPO法人教育サポートGAA」は、2017年2月に法人として発足し、『学校の困ったにマッタする』を合言葉にさまざまなかたちでサポートさせていただきました。授業でのTTサポートやテスト前の補習授業、行事前の環境整備や当日の職員室当番、賞状の筆耕など多岐にわたっています。

《居場所づくり》

2022年2月には、日本財団「子ども第三の居場所づくり事業」の助成を受けて、「さんむわくわく館」を開館（新築）しました。山武教育会館にお越しの際にお立ち寄りいただければ幸いです。

《多様な学び》

さんむわくわく館では、多様な子どもたちに多くの『学び』を提供しています。電子黒板を使ってのイラスト体験や作曲体験、タブレットPCとゴーグルを使ってのVR体験、3Dプリンタを使っての立体モデルの製作などです。自走ロボットのプログラミング体験やクラフト体験、アイランドキッチンを使っての調理・お菓子づくり体験や席書・書き初め体験、竹とんぼやボッチャなどの軽スポーツ体験も行っています。

《新たな学び》

子どもたちは、さまざまな「体験」を通して『新たな学び』に出会い、「好きなこと」に取り組む中で「感動」を味わい「意欲」と「自信」を手にします。子どもたちが持つ素晴らしい『潜在能力（個性）』を引き出し、『未来に向かって歩み出す力（生きる力）』を蓄えられるよう、ぜひ「さんむわくわく館」をご活用ください。

五つの理念

- 1 《一人一人のペースを大切にします》
みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- 2 《一人一人の違いを認め尊重します》
週に何日、いつ来ていつ帰るか、1日をどう過ごすかなど自由に決められます。
- 3 《一人一人の興味・関心に寄り添います》
好きなことややりたいことに、時間とスペース（施設・設備）をたくさん使えます。
- 4 《どうしたら実現できるか一緒に考えます》
どうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらいます。
- 5 《自分たちの力で創り出すまで見守ります》
みんなでアイディアを出し合い、日々の過ごし方を自分たちでプランできます。

2023年度の歩み

4月	受入れ開始　　日本語教室開催（教育委員会主催）
6月	芋苗植え
8月	子ども夏の学習会（小学生対象）　　プログラミング教室　　書道教室
9月	子ども秋の学習会（中学生対象）～2月
10月	芋掘り・調理実習
12月	書道教室（書初め）

*今年度も同様の活動を行います。
詳細は改めてお知らせします。

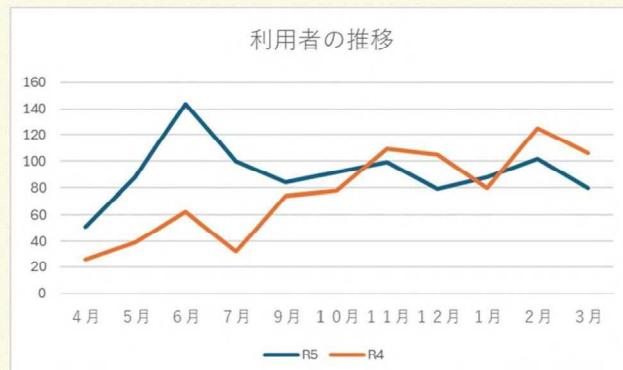
*この他にもクッキングスクールや昔遊び会などを実施しています。

利用者の推移

令和3年2月の開館以来、利用者は徐々に増え、令和4年の夏以降、月ごとの変動はあっても多数利用されています。

学校に行きづらさを感じている児童生徒がいればご相談ください。

利用者の年齢　　0歳～18歳
1日の平均利用者　　8.3人
年間延べ利用者数　　1023人



さんむわくわく館

0475(53)5976

月・水・木曜日 9時～19時

祝日・年末年始・夏・冬季休業日を除く
山武市成東 2553-1 (浪切不動院脇)

Email gaa.wakuwakukan@gmail.com

Hp <https://gaa.wakuwakukan.wixsite.com/my-site-1>

学校との連携

さんむわくわく館の利用状況は
月ごとに学校へお知らせします

利用対象

0～18歳までの子どもとその保護者
※未就学児は保護者同伴

利用料

無料　※事前に登録と予約が必要

NPO 法人教育サポート GAA

教育活動全般にわたる支援を目指して設立されたNPO法人で、学校内での支援のほか、漢検やプログラミング講習など様々な講座を行っています。

また、子ども第三の居場所づくり事業として「さんむわくわく館」を運営しています。

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

さんむわくわく館は日本財団の助成を受けて活動しています。

さんむわくわく館だより

第7号 2024年11月11日発行
NPO法人教育サポートGAA

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけていたいと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもの居場所です。

たった2分間 されど2分間

お子さんと1日どれくらい会話をしていますか。

「早くご飯を食べて!!」、「早く宿題やりなさい!!」これは会話ではなく「指示」や「命令」です。

1日2分間で良いのでお子さんの話に耳を傾けましょう。

「ねえ、ママ。」「ねえ、パパ。」とお子さんが話しかける時は、自分の気持ちを伝えたかったり、出来事を共有してほしかったりする時です。

話を聞くときは、

『たった2分間

されど2分間』

- ① スマホを置いて
- ② お子さんの方を向いて
- ③ うなずきながら
- ④ 口を挟まずに
- ⑤ 2分間黙って聴く



2分間、話を聞くと話の内容が分かり、お子さんも満足できます。

自分の方を向いてくれた。話を聞いてくれた。自分を尊重してくれたと思い、それだけで自信がつき、心が安定します。また、話することで自分の気持ちを整理したり、新しい視点で解決策を見つけることができるようになります。

口を挟んでしまいそうな時は、

聞く時の基本

『さ・し・す・せ・そ』

- さ：さすがだね（褒める）
- し：知らなかった（驚きや関心を示す）
- す：すごいね（感心する）
- せ：センスいいね（評価する）
- そ：そなんだ（共感する）

話を聞くことは、お子さんの自己肯定感を高め、想像力や共感力を育むためにとても有効です。体に栄養を与えるのと同じように、お子さん的心に栄養を与えましょう。

さんむわくわく館 『五つの理念』

1 《一人一人のペースを大切にします》

みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。

2 《一人一人の違いを認め尊重します》

週に何日、いつ来ていつ帰るか、1日をどう過ごすかなど自由に決められます。

3 《一人一人の興味・関心に寄り添います》

好きなことや、やりたいことに、時間とスペース（施設・設備）をたくさん使えます。

4 《どうしたら実現できるか一緒に考えます》

どうしたいかを見つけることから、できるようになるまで、親身に応援してもらいます。

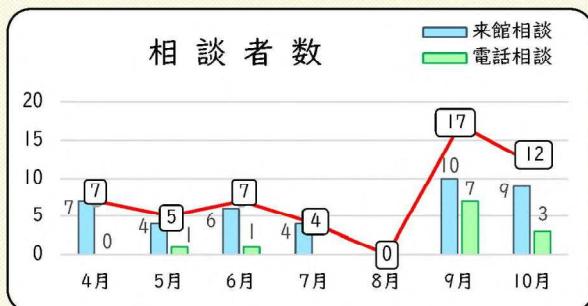
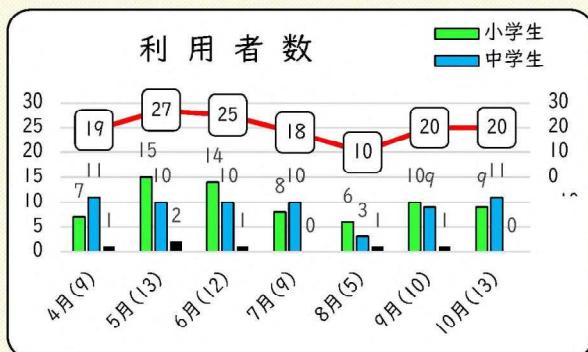
5 《自分たちの力で創り出すまで見守ります》

みんなでアイディアを出し合い、日々の過ごし方を自分達でプランします。

2学期の様子

「学校に行きたくない。」この言葉が最も多く聞かれるのは、9月と言われています。

以下のグラフにあるように、「さんむわくわく館」でも利用者数や相談者数が増えています。



お子さんが友達関係で悩むことはよくあります。そんな時、安易に「仲良くしなさい」と言うのは効果がないばかりか、逆効果になることもあります。

まずはお子さんの訴えをよく聴いてあげてください。

そして、冷静かつ客観的に判断した上で、どうすればその悩みを解消できるのか一緒に話し合ってみてください。

これは、お子さんが目の前の課題を解決するだけでなく、今後の課題も自ら解決していく手助けとなります。

子育てについて困りごとがある場合は、一人で抱え込まず、まず誰かに相談することをお勧めします。

さんむわくわく館

月・水・木曜日 [9時～19時]

祝日・年末年始・夏・冬季休業日を除く

0475(53)5976

山武市成東 2553-1 (浪切不動院脇)

Email gaa.wakuwakukan@gmail.com

<https://gaa.wakuwakukan.wixsite.com/my-site-1>

学校との連携

さんむわくわく館の利用状況は
学校と情報を共有しています

利用対象

0～18歳までの子どもとその保護者

※未就学児は保護者の同伴が必要です

利用料

無料 ※事前に登録と予約が必要です

NPO法人教育サポートGAA

当法人は、教育活動全般にわたる支援を目指して設立されました。小・中学校での学習支援のほか、
公民館での漢検・数検・英検講座の支援やさんむわくわく館でのプログラミング講座などを行っています。

Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION

さんむわくわく館は日本財団の助成を受けて活動しています。

11月

わくわく通信

第1号

令和6年11月7日発行
NPO法人教育サポートGAA

秋の深まりを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、これまでさんむわくわく館の様子については、「さんむわくわく館だより」でお知らせしてきましたが、新たに「さんむわくわく館通信」を加えました。

この通信では、さんむわくわく館を利用されている方々だけに、日々のお子さん方の学びや活動の様子を具体的にお伝えします。

すべてのお子さん方にとって、居心地よい「空間」であり、心が和む「場」であるよう、スタッフ一同、精一杯努力して参りますので、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 斎藤 伸之

1日の始まり

最初に《Dailyプランニングシート》を使って予定を立てます。

【午前（静的活動）⇒ 12:00昼食 ⇒ 12:30午後（動的活動）】

午前の様子（静かに過ごす時間）

- 静かに本を読んでいる子がいます。
- 学校の課題に集中している子がいます。
- PCを使って学校のオンライン授業を受けている子がいます。
- タブレットPCでイラストを描いている子がいます。
- コンピューターゲームに夢中になっている子がいます。
- 体を動かしたくてしかたない子がいます。



午後の様子（元気に過ごす時間）

- コンピュータで熱心に調べ学習をしている子がいます。
- 静かに将棋をしている子がいます。
- ジェンガに熱中している子がいます。
- レシピを片手に調理している子がいます。
- 卓球をしている子がいます。
- 外でボール遊びや追いかけっこをしている子がいます。
- コンピューターゲームに熱中して声をあげている子がいます。
- 気分転換に散歩に出かけている子がいます。



個別面談に向けて



さんむわくわく館の基本的な考え方は、以下のとおりです。

- ① 一人一人の違いや思いを認め、尊重します。
- ② 一人一人の思いに寄り添い、一緒に考えます。
- ③ みんなで考え、自分たちでできるように見守ります。



こここのところ利用されるお子さんの時間帯が重なり、集団で過ごす時間が増えています。すべてのお子さんがそれぞれの違いに気づき、一人一人を大切にできるよう支援しています。

今月14日からの個別面談では、以下の内容についてお話しする予定です。前もってご家庭でも話しあっておいていただけだと面談が充実しますので、ぜひご協力をお願いいたします。

[お子さん] 10月は何をやって過ごしたか ⇒ 11月にやりたいことは何か
[保護者の方] どのようなお子さんに育って欲しいか ⇒ そのために当館をどう利用したいか



12月

わくわく通信

第2号

令和6年12月5日発行
NPO法人教育サポートGAA

めっきり寒さが身に染みる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、前号でお知らせしたとおり、「わくわく通信」では、さんむわくわく館を利用されている方々だけに、日々のお子さん方の学びや活動の様子を具体的にお伝えします。

先日行った面接やアンケートの結果をもとに、すべてのお子さん方にとって、居心地のよい「空間」であり、心が和む「場」であるよう、利用のてびきの一部を変更します。なにとぞご理解ご協力をお願ひいたします。

わくわく館の基本的な考え方

さんむわくわく館の基本的な考え方方は、以下のとおりです。

- ①一人一人の違いや思いを認め、尊重します。
- ②一人一人の思いに寄り添い、一緒に考えます。
- ③みんなで考え、自分たちでできるように見守ります。



現在のわくわく館での利用者の様子

- 持参したゲーム機で、熱中してほぼ活動時間のすべてを対戦型戦闘ゲームに充てているグループがあります。熱中するあまり大きな声を上げたり、仲違いして怒ったり泣いたりしている子もいます。
- 騒々しさや喧嘩の様子に、驚きや怖さを感じて来館をためらったりやめたりしている子がいます。
- オンラインで授業を受けたり、問題集で自学したりしている子がいます。
- プログラミングに熱中している子がいます。
- 散歩に行ったり長距離走をしたりしている子がいます。



てびきの新たな内容

- **当面の間、ゲーム機の持ち込みを終日停止します。**
※PCやタブレットは今までどおり使用できます。
貸し出しも今まで同様行います。
- **来館時 ⇒ わくわく館で何をしたいのか、あらかじめご家庭で話し合っていただき、お子さんと一緒に「プランニングシート」に記入してスタッフにお渡しください。**
- **退館時 ⇒ お子さんの1日様子を聴きながらシートに記入してください。**

※「プランニングシート」は、『自分の行動を見つめ考える』ためのツールです。
お子さんと一緒に作成して成長を支えてあげてください。
朝夕のお忙しい時間帯ですが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



1月

わくわく通信

第3号

令和7年1月22日発行
NPO法人教育サポートGAA

まだまだ冷たい風が吹く今日この頃、皆様におかれましては新年の希望に胸を膨らませてのことだと思います。

本年もスタッフ一同、精一杯努力して参りますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

3学期の運営



2学期末に行った「居心地のよい空間」アンケートの結果を踏まえて、今学期の重点をまとめました。一人一人のお子さんが、これを意識して行動できるよう、一緒に考えていきます。

Point 1

自分で考え、自分で判断し、自分から行動する。

《自分を大切にする》

(1) **自分で計画する**

⇒ 「プランニングシート」に記入する (1日の計画)

(2) **自学を充実する**

⇒ 「自分で用意」する (学校のプリント・ワークなど)

(3) **進んで質問する**

⇒ 「そのままにしない」 (分からぬこと・疑問など)



Point 2

一人一人の活動を認め、みんなで楽しく活動する。

《友達を大切にする》

(1) **活動内容を守る**

☆午前 (09:00~12:00)

⇒ 「静か」に活動する (自学)

☆昼食 (12:00~12:30)

⇒ 「着席」して静かに食べる

☆午後 (12:30~18:50)

⇒ 「楽しく」活動する

(2) **音量に気をつける**

⇒ 「大きな声」を出さない

⇒ 「大きな音」を出さない

⇒ 「いやな音」を出さない



(3) **貴重品は持たない**

⇒ 「持ってこない」

(お金・カードなど)



(4) **進んで相談する**

⇒ 「そのままにしない」

(体調、困った・嫌なことなど)

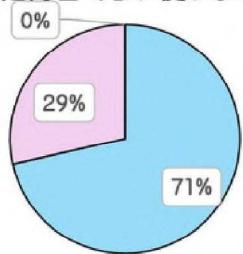


「居心地のよい空間」アンケート結果



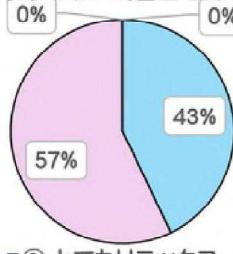
2学期末に実施した「居心地のよい空間」アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせします。

週に何日ぐらい使いましたか

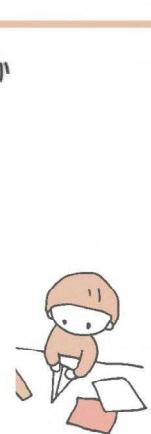


- ① 3日 □② 2日 □③ 1日

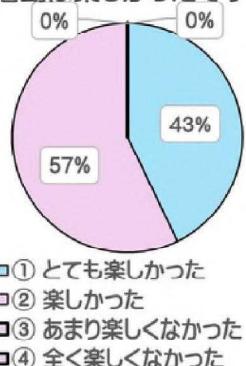
リラックスして過ごせましたか



- ① とてもリラックス
□② リラックスできた
□③ あまりできなかつた
□④ 全くできなかつた



活動は楽しかったですか



- ① とても楽しかつた
□② 楽しかつた
□③ あまり楽しくなかつた
□④ 全く楽しくなかつた

- ① 友だちと遊んだ・触れ合ったこと
(ゲーム・折り紙・紙飛行機・外遊び・鬼ごっこ・竹とんぼ)
② 落ち着いて勉強できたこと
(学校の学習・絵・3Dプリンター)
③ 調理ができたこと
(おやつ作り)



困ったことはありましたか



- ① 全くなかつた
□② あまりなかつた
■③ ときどき困つた
■④ いつも困つていた

- ① 何をやるか決まらない (活動計画)
② 遊びが終わらず帰れない (活動時間)
③ 勉強が分からない (学習内容)
④ 大声を出す人がいた (人間関係)
⑤ 言い争いや暴力があった (人間関係)
⑥ 部屋が暑すぎた (生活環境)



2月-1

わくわく通信

第4号

令和7年2月10日 発行
NPO法人教育サポートGAA

2025年4月変更

事業説明会のご案内



子ども第三の居場所「さんむわくわく館」は、開館4周年目を迎えるにあたり、4月から運営形態が大きく変更になります。

そこで、以下のとおり説明会を実施します。大切な説明会ですので
4月からも引き続き利用される方は、必ずご出席ください。

[月日] 2025年 2月 22日 (土)

[時間] 午前10時～午前11時

[会場] さんむわくわく館

3周年記念イベント

スプリングフェスティバル

2022年2月にオープンした「さんむわくわく館」の3周年記念イベントとして「スプリングフェスティバル」を開催します。

多くの方々にご参加いただき、楽しいひとときを共に過ごしましょう。
みなさま、ふるってご参加ください。

日時 3月16日(日) 9:00～13:00

会場 さんむわくわく館

内容 スポーツレクレーション&調理/昼食

参加 8組16名 (各組2名) + スタッフ

備考 詳細については改めてお知らせします



2月-2

わくわく通信

第5号

令和7年2月17日 発行
NPO法人教育サポートGAA

新たな旅立ち ～4月からの事業運営について～

子ども第三の居場所「さんむわくわく館」事業は、これまで日本財団の助成を受けて「NPO法人教育サポートGAA」が運営してきました。

4月からは、「山武郡市広域行政組合」が運営する事業と、「山武市教育委員会」が運営する事業として独立する予定です。

これによって、利用対象者や利用可能日時、利用手続などが変わります。

現時点での計画は、下記のとおりです。

詳しい内容については、2月22日（土）の事業説明会でご案内します。

事業案

[午前9時～午後3時]

- ・事業主 山武郡市広域行政組合
- ・事業名 ハートフルさんぶ「山武教室」
- ・対象者 山武郡市内に在住在籍の小・中学生
(利用の可否は面談後にお知らせします)
- ・開館日 週5日(月～金) 9:00～15:00
- ・手続き 山武郡市教育相談センターに申し込む
- ・その他 詳しくは山武郡市広域行政組合教育相談センターのホームページをご覧ください

事業案

[午後3時～午後7時]

- ・事業主 山武市教育委員会
- ・事業名 山武市「子どもの居場所づくり」
- ・対象者 山武市内に在住在籍の小・中学生 等
(利用の可否は面談後にお知らせします)
- ・開館日 週3日(月・水・金) 15:00～19:00
- ・手続き 山武市教育委員会、または
さんむわくわく館に申し込む
- ・その他 詳しくは事業説明会の際にお知らせします

《事業説明会》

[月日] 2025年 2月 22日 (土)

[時間] 午前10時～午前11時

[場所] さんむわくわく館



開館3周年記念イベント

スプリングフェスティバル

参加者募集中！

みんなで楽しい思い出のひとときを……



2022年2月にオープンした「さんむわくわく館」の3周年記念イベントとして「スプリングフェスティバル」を開催します。

スポーツレクレーションで体を動かした後、グループ毎に昼食やおやつ作りをして楽しく会食します。

本年度最後のイベントですので、多くの方々にご参加いただき、楽しいひとときをみんなで過ごしましょう。ご参加をお待ちしています。

スケジュール

(変更になる場合があります)

《開会行事》9:00

○理事長挨拶 ○日程説明

《ゲーム大会》9:10

[晴天時]

- ターゲットディスク
- フットロケット
- フライング竹とんぼ

[雨天時]

- エアカーリング
- ラジコンカーレース
- リングトス

《調理/会食》11:00

お好み焼き



《閉会行事》12:50

○ゲーム大会表彰式

○お楽しみ抽選会



★ 参加費 無料 ★



さんむ
わくわく館

2025年3月16日(日)
午前9時～午後1時

お申込み/お問い合わせ

0475-53-5976

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

この事業は日本財団の助成を受けて実施しています

書道・書き初め体験

- ◇ ねらい 席書や書初めの基本練習を体験し、納得のいく作品を仕上げる
- ◇ 日 時 7月10日、12月25日（午前部、午後部）
- ◇ 状 況
 - ・和やかに練習し落ち着いて作品作りに取り組んだ。
 - ・作品は後日展覧会に出品した。
 - ・参加者は仕上げた作品を手にしてとても満足していた。

参 加 者 募 集

わくわく書道体験 (半紙)

千葉県席書大会に向けて「練習会」
を行います。

小学4年生から6年生の皆さんの参加を
お待ちしています。



- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 令和6年7月10日（水）
午後4時～午後6時 |
| 2 場 所 | さんむわくわく館 山武市成東2553-1（浪切不動院脇） |
| 3 対 象 | 山武市内小学校4年生～6年生（書道教室に通っている児童を除く） |
| 4 定 員 | 10名（応募者多数の場合は抽選） |
| 5 参加費 | 300円（保険料等） |
| 6 持ち物 | 書道用具（手本、半紙、大筆、小筆、墨汁、下敷き、文鎮 他）
レジャーシート、タオル・雑巾、新聞紙
ビニール袋、ウエットティッシュ |
| 7 申込み | <ul style="list-style-type: none">◇ 方 法 電話：0475-53-5976 「さんむわくわく館」◇ 受付 月日：6月26日(水)、6月27日(木)
7月1日(月)、7月3日(水) 7月4日(木)
時間：午前9時～午後4時◇ その他 定員を越えた場合は7月5日(金)以降に電話でお知らせします。 |
| 8 その他の | <ul style="list-style-type: none">・マスクの着用は参加者の判断でおねがいします。・悪天候等で中止する場合は、電話でお知らせします。 |

問合せ NPO法人教育サポートGAA
Tel : 070-3977-6600
Mail : gaa.sammu@gmail.com

参加者募集！

《 小学4年生～6年生 》



書道体験（書き初め）

12月25日（水）

《電話申込》9～16時 0475-53-5976 [さんむわくわく館]

受付日 ⇒ 12月9日(月)・11日(水)・12日(木)・16日(月)・18日(水)

1 日 時 2024年12月25日(水)

〔午前の部〕10:00～11:30

〔午後の部〕13:00～14:30

2 場 所 さんむわくわく館 山武市成東2553-1 (浪切不動院脇)

3 対 象 山武市内小学4年生～6年生 (書道教室に通っているお子さんは除きます)

4 定 員 午前・午後各5名 (定員を超えた場合は抽選)

◇定員を越えた場合は、抽選結果を12月19日(木)以降に電話でお知らせします。

5 参加費 300円 (保険料等)

6 持ち物 書道用具一式

手本、書初用紙、太筆、細筆、墨池、墨汁、下敷き
文鎮、レジャーシート、ぞうきん/タオル、新聞紙(1日分)
ウエットティッシュペーパー、ビニール袋

7 その他 マスクの着用は各自の判断でお願いします。

悪天候等で中止する場合は電話でお知らせします。



問合せ NPO 法人教育サポート GAA

Te l 070-3977-6600

Mail gaa.sammu@gmail.com



プログラミング講座

- ◇ ねらい 簡単なプログラムを作成してロボットや3Dプリンターを思い通りに動かす。
- ◇ 日 時 (1) 初級：8月5日
(2) 中級：8月19日
(3) 上級：11月3日
- ◇ 状 況 ・ 級別にしたことによってスキルに応じた支援ができ、子どもの満足度も高まった。
・ プログラミングを通して判断力や表現力を高めることができた。

レッツ プログラミング

今年も開催します 夏のプログラミング講座



mbot2 講座 (ブロック言語を使ってロボットを思いどおりに動かします)

8月5日（月）13時30分—15時30分 定員10名
3D プリンタ講座 (pcでデザインした立体物を持ち帰れます)

8月19日（月）13時30分—15：30分 定員5名
***先着順 両方申し込むこともできます。**

募集要項

対 象 小学5年生～中学3年生

会 場 さんむわくわく館 *浪切不動尊となり

持 ち 物 参加費 上履き 飲み物 筆記用具 USBメモリ

参 加 費 mbot2 500円(保険代・資料代)

3D プリンタ 800円(保険代・資料代・材料代)

申込方法 次のQRコードで申し込みフォームに進んでください。

7月1日（月）9：00～7日（日）12：00

問い合わせ mail:gaa.wakuwakukan@gmail.com



この活動では、主催者の広報活動や報告等のために写真や動画の撮影をします。撮影した画像等は、個人が特定されないように配慮します。また、本事業以外には使用しません。

[主催:NPO 法人教育サポート GAA] [後援:山武市教育委員会]



プログラミング講座 開催

11/3 日 文化の日
13:30~15:30・事前予約制

今話題のドローンを一人につき一台ずつ使って、簡単なプログラミングを学びます。自分で組んだプログラムを使い、コースに従ってドローンを飛ばします。
スクラッチというプログラミング言語を使用します。



\POINT1/

遊びながらの学び

一人一台のドローンを使ってプログラミングを学ぶので、とても楽しく学ぶことができます。



\POINT2/

少人数制

参加者2人につき1人のスタッフがつくるので、困ったときにはすぐに聞くことができます。



\POINT3/

低料金

子どもの教育を支えるためのNPO法人が主催しますので、実費のみで参加できます。

対象

小学校5年生～中学生

申込方法

10月11日09:00～23日 先着順
右のQRコードから
申し込んでください

定員

6名

参加費

600円（保険代・資料代）

NPO法人教育サポート GAA
さんむわくわく館

お問い合わせ

☎ 0475-53-5976

月・水・木曜日（祝日除く）

09:00～19:00

日本語交流会への協力

- ◇ ねらい 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習を支援する。
(山武市教育委員会・城西国際大学共催)
- ◇ 日 時 5月～7月（月1回） 17:30～18:45
- ◇ 状 況
 - ・城西国際大学の学生を講師に日本語交流（学習）会を実施した。
 - ・日本語カードを使ったゲームでは、身振り手振りを交えながら楽しく参加していた。
 - ・回を重ねる毎に学生との距離が縮まり日本語力が高まった。



運 営 ス タ ッ フ

- ◇ マネージャー 戸村恒夫（4～6月）
前田恭弘（7月以降）
- ◇ スタッフ 鵜澤洋子 大木順子 小川洋子 佐瀬雅子
- ◇ サポーター 齋藤伸之 石井由美子 鵜澤政仁 井上敦子



さんむわくわく館

Tel : 0475 (53) 5976

Address : 千葉県山武市成東 2553-1

Mail : gaa.wakuwakukan@gmail.com

Hp : <https://gaawakuwakukan.wixsite.com/my-site-1>

NPO法人教育サポートGAA

Tel : 070 (3977) 6600

Address : 千葉県山武市成東 2553-1

Mail : gaa.sammu@gmail.com

Hp : <https://gaasammu.wixsite.com/mysite>